

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	ここ数年、自然災害が増えている環境にありながらも、規定の年2回の防災訓練が実施されていなかった。	年2回は、必ず防災訓練を実施するとともに、自衛消防組織の中でも、常に災害を想定した設備を整えとともに、利用者の安全確保にも努める。備蓄品等の確認もおこなう。	各階よりリーダーを選定し、防火管理者とともに災害について話し合う機会をもうける。また、近隣住民や運営推進会議会員、消防署からも助言や協力を得る。	12ヶ月
2	6	利用者の身体状況により、安全ベルトを使用していることがある。安全ベルトをしているからといって、安全とは限らない。	身体拘束フローチャートを作成し、職員全員が理解できるよう努める。日常業務でも、身体拘束にあたる行為がないケアをする。	<ul style="list-style-type: none"> ・技能実習生にも分かるように伝える。 ・身体拘束について、勉強会をする。 ・身体的介助、生活支援の中でも虐待や身体拘束に該当する場合もあるので、都度説明をする。 	12ヶ月
3	33	利用者の疾病や終末期に向けた介護について、知識が不足している。	職員全員が対応できるように勉強会を開き、知識や技術、全体的な質の向上に努める。	施設内で勉強会を開催し、利用者個々の人格を尊重しつつも、疾病に合った介護や終末期を想定しての介護が出来るようになる。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月